

平成26年度

総 会 議 案 書

日時 平成26年5月29日（木）13:00～

場所 帯広市役所 10階 第3会議室

帯広畜産大学整備拡充促進期成会

会 議 次 第

1 開 会

2 挨拶

3 来賓紹介

4 議 事

報告第1号 平成25年度事業報告

報告第2号 平成25年度決算及び監査報告

議案第1号 平成26年度事業計画

議案第2号 平成26年度予算

5 その他

6 閉 会

平成25年度事業報告

1 帯広畜産大学の整備拡充促進

帯広畜産大学の整備拡充に向けた取り組みを、関係機関と連携しながらすすめました。

(1) 陳情、要請等

教育・研究機能の一層の充実など、帯広畜産大学の整備拡充に向けて、関係団体とともに、国などに働きかけを行いました。

また、帯広畜産大学と地域との交流・連携に向けた取り組みをすすめました。

【整備拡充に関する要望】

○十勝圏活性化推進期成会と合同要請（平成25年7月10日～7月12日）

1 特別経費の交付

- (1) 国際的通用性を備えた獣医師育成のための国際的教育研究拠点の形成
- (2) オーセンティック・インフェクションを基盤とした家畜原虫病研究の新展開
- (3) 疫学手法を用いた十勝モデル構築による食の安全確保
- (4) 世界の畜産衛生フィールドで活躍できる国際専門職業人の養成
- (5) 国際標準の食品安全マネジメントシステムに関する教育モデルの構築
- (6) 家畜・野生動物感染症に関するサーベイランスモデルの構築

2 基盤的設備の整備

- (1) 感染動物滅菌処理システムの整備
- (2) バイオハザード対応大型高圧蒸気滅菌器の設備
- (3) 生体ケミカルトランスダクション分析装置の整備

3 教育研究施設の整備

- (1) 総合教育支援研修センター整備
- (2) 図書館改修
- (3) 総合防災センター整備
- (4) 産業動物感染実験施設整備
- (5) 基幹・環境整備
- (6) 講堂耐震改修

4 運営費交付金の措置

地域の「知の拠点」として教育・産業など様々な分野における役割を持続的に果たすとともに、十勝地域の地域資源を活かした研究・開発の推進に対し、必要な運営費交付金を措置すること。

(2) 資料、情報等の収集

国立大学法人に係る国の動向などに関する資料や情報収集を行いました。

また、他地域における地元国立大学法人の整備拡充に係る支援活動事例や産学官連携などの先進地視察を行いました。

【先進地視察・情報収集】

○三重県視察（平成26年2月18日～2月19日）

三重県 津市 三重大学社会連携研究センター

松阪市 辻製油株式会社

伊勢市 有限会社二軒茶屋餅角屋本店

(資料1・1-①)

平成25年度決算

《収入》

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	増△減	摘 要
負 担 金	270,000	270,000	0	帯広市 180,000円 十勝町村会 90,000円
繰 越 金	144,000	144,363	363	前年度繰越金 144,363円
雑 入	1,000	43	△957	預金利子 43円
合 計	415,000	414,406	△594	

《支出》

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	増△減	摘 要
事 務 費	20,000	18,646	△1,354	郵送料、消耗品に要した経費
事 業 費	395,000	322,980	△72,020	要請活動・情報収集のための 旅費に要した経費
合 計	415,000	341,626	△73,374	

収入決算総額 414,406円

支出決算総額 341,626円

差引総額 72,780円 ⇒ 平成26年度へ繰越

平成25年度監査報告

帯広畜産大学整備拡充促進期成会規約第7条第4項の規定に基づき、
平成25年度の会計事務に関する関係書類を監査したので、その結果を報告
します。


平成26年5月8日

帯広畜産大学整備拡充促進期成会

会長 米沢 則寿 様

監 事

由佐 壽朗 

竹田 悦郎 

記

1. 監査の結果 適正に処理されていることを認めます。

平成 26 年度事業計画

1 帯広畜産大学の整備拡充促進

帯広畜産大学の整備拡充に向けた取り組みを、関係機関と連携しながらすすめます。

(1) 陳情、要請等

教育・研究機能の一層の充実など、帯広畜産大学の整備拡充に向けて、関係団体とともに、国などに働きかけを行います。

また、帯広畜産大学と地域との交流・連携に向けた取り組みを進めます。

(2) 資料、情報等の収集

国立大学法人に係る国の動向などに関する資料や情報収集を行います。

また、他地域における地元国立大学法人の整備拡充に係る支援活動事例や産学官連携などの先進地視察を行います。

2 帯広畜産大学整備拡充促進期成会の今後のあり方の検討について

帯広畜産大学整備拡充促進期成会の取り組みをさらに前進させるため、十勝高等教育まちづくり会議との整合性の整理と、今後の組織のあり方について検討します。

(資料 2、参考資料)

平成26年度予算

《収入》

(単位：千円)

科目	本年度予算	前年度予算	増△減	摘要
負担金	270	270	0	帯広市 180,000円 十勝町村会 90,000円
繰越金	72	144	△72	前年度繰越金
雑入	1	1	0	預金利子
合計	343	415	△72	

《支出》

(単位：千円)

科目	本年度予算	前年度予算	増△減	摘要
事務費	20	20	0	郵送料、消耗品等
事業費	323	395	△72	要請活動、情報収集等
合計	343	415	△72	

収入・支出予算総額 343千円

帯広畜産大学整備拡充促進期成会規約

(名 称)

第1条 本会は、帯広畜産大学整備拡充促進期成会と称する。

(目 的)

第2条 本会は、帯広畜産大学の整備拡充を促進することを目的とする。

(事 業)

第3条 本会は、前条の目的を達するため、次の事業を行うものとする。

- (1) 関係官公庁、その他関係機関に対する陳情、請願並びに情報の交換及び連絡
- (2) その他必要な事項

(組 織)

第4条 本会は、行政機関、経済団体、農業関係機関等本会の趣旨に賛同するものをもって組織する。

(役 員)

第5条 本会に役員を置く。

会 長	1 名
副会長	2 名
理 事	若干名
監 事	2 名

2 会長は、前項に定めるもののほか、顧問及び参与若干名を推挙することができる。

(役員の設定)

第6条 役員は、総会において選任し、任期は2年とする。ただし再任をさまたげない。

(役員の仕事)

第7条 会長は、本会を代表し、会務を総理する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、これを代理する。
- 3 理事は、本会の重要な事項の審議及び会務の運営にあたる。
- 4 監事は、本会の会務を監査する。

(総 会)

第8条 総会は、必要に応じ会長がこれを召集する。

- 2 総会の議長は、会長がこれにあたる。
- 3 総会は、本会の目的を達成するために必要な事項を審議、決定する。

(専 決)

- 第9条 総会で決定すべき事項について特に緊急を要するため総会を招集する時間的余裕がないことが明らかであると認めるときは、会長は、総会に諮ることなく事務を行うことができる。
- 2 前項の規定により事務を行った場合は、会長は、次の総会において報告し、その承認を求めなければならない。

(事務局)

第10条 本会の事務局は、帯広市政策推進部政策室に置く。

(経 費)

第11条 本会の経費は、負担金その他の収入をもってこれにあてる。

(会長委任)

第12条 この規約に定めるもののほか必要な事項は、会長が定める。

附 則

- この規約は、昭和56年 5月30日から施行する。
この規約は、昭和60年12月18日から施行する。
この規約は、平成 4年 5月29日から施行する。
この規約は、平成19年 6月 4日から施行する。
この規約は、平成20年 5月30日から施行する。

帯広畜産大学整備拡充促進期成会 現役員名簿

(平成26年5月29日現在)

役職名	団 体 名	職 名	氏 名	摘 要
会長	帯広市	市 長	米 沢 則 寿	
副会長	帯広商工会議所	会 頭	高 橋 勝 坦	
	十勝町村会	会 長	高 橋 正 夫	
理事	十勝農業協同組合連合会	代表理事 会 長	山 本 勝 博	
	帯広市議会	議 長	野 原 一 登	
	十勝町村議会議長会	会 長	小 野 木 英 毅	
	十勝圏活性化推進期成会	行 財 政 常任委員長	伏 見 悦 夫	
	十勝地区農業協同組合長会	会 長	有 塚 利 宣	
	十勝農業委員会連合会	会 長	木 下 美 智 夫	
	十勝農業共済組合	組合長理事	岡 田 恒 博	
監事	北海道十勝管内商工会連合会	会 長	竹 田 悦 郎	
	帯広畜産大学同窓会	会 長	由 佐 壽 朗	

帯広畜産大学整備拡充促進期成会 顧問・参与名簿

役職名	団 体 名	職 名	氏 名	摘 要
参与	十勝総合振興局	局 長	濱 崎 隆 文	